

京都出身の洋画家、須田国太郎（1891-1961）は、油絵だけでなく、墨画や能の謡（うたい）、陶芸などさまざまな芸術に目を向け、作品を制作しています。本展では、油彩画作品をはじめ、能のスケッチや陶器など、須田の多様な作品を紹介します。

須田は19歳頃から独学で油絵を描きはじめます。その後、京都帝国大学（現・京都大学）で美学・美術史を専攻し、関西美術院ではデッサンを学びました。28歳でスペインを拠点に4年間留学。帰国後は美術史の講師をしながら絵の制作を続け、1932（昭和7）年、41歳の時に開いた初個展を機に画壇デビューを果たし、本格的に画家としての道を歩み出しました。

また須田は、独学で油絵を描きはじめたのと同時期に能（金剛

流）の謡を習いはじめ、晩年まで続けています。能楽堂に通って能のスケッチもしており、その一瞬の動きを素早くとらえました。ほかにも、陶器の絵付けや手びねりでの作陶も行い、自身が使用する筆立なども制作しています。京都では1947（昭和22）年に、陶芸家の宇野三吾を中心とした前衛的な陶芸家集団「四耕會」が発足していますが、宇野と交遊のあった須田は、その顧問をつとめました。

当館では、須田の愛用していた画材や、精巧な造形に魅了され収集したグリコのおもちゃ（1949年～1961年頃）コレクションも公開しています。本展を通して、須田が見つめた芸術の世界をお楽しみください。



◆◆ワークショップ◆◆

フェルトでバラの コサージュを作ろう！

母の日の贈り物にも！

須田が画題の一つとして好んだバラをフェルトで作ってみませんか。針も糸も使用しないので、どなたでも安心して制作できます。

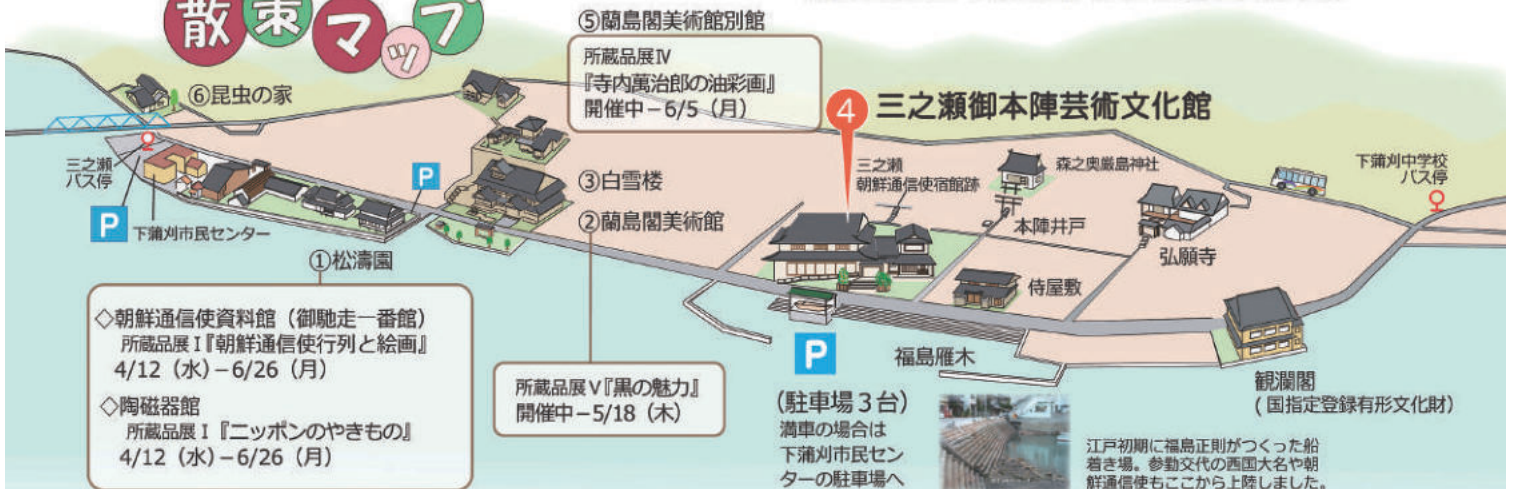
日 時 2023年4月29日（土）
場 所 当館エントランス
参 加 費 無 料（別途入館料が必要）
予 約 制 各時間帯2名ずつの制作で行います。
（小学生以下は保護者の同伴が必要）
①10:00～ ②11:00～
③13:00～ ④14:00～ ⑤15:00～

申込方法 希望時間、氏名、住所、電話番号をご明記のうえ、下記メールアドレスかFAX、お電話でお申し込みください。先着順で定員になり次第締め切らせていただきます。
【メールアドレス】 honjin@shimokamagari.jp
【FAX】 0823-70-8044
【電話】 0823-70-8088

参加いただいた方にはクリアケースをプレゼント！

1.「真豹」油彩・キャンバス 1944年 2.「レコードプレーヤー」3.「カップ」4.「洗濯機」5.「ウサギ」
2～5は全て1953-57年のもの 須田が収集したグリコのおもちゃ
6.7.須田自作の筆立・筆置き 8.「ばら」水彩・紙 1945-50年 9.「薔薇」（部分）パステル・色紙

散策マップ



◇朝鮮通信使資料館（御馳走一番館）
所蔵品展Ⅰ『朝鮮通信使行列と絵画』
4/12（水）-6/26（月）

◇陶磁器館
所蔵品展Ⅰ『ニッポンのやきもの』
4/12（水）-6/26（月）

所蔵品展Ⅴ『黒の魅力』
開催中-5/18（木）

（駐車場3台）
満車の場合は
下蒲刈市民センターの駐車場へ

観瀾閣
（国指定登録有形文化財）

江戸初期に福島正則がつくった船着き場。参勤交代の西国大名や朝鮮通信使もここから上陸しました。



広島市内から車で約60分
呉市内より国道185号線を竹原方面へ。安芸灘大橋（有料）を渡った最初の島が下蒲刈島です。下蒲刈市民センター前の無料駐車場をご利用できます。
安芸灘大橋を現金で通行し、指定施設にて1,000円以上ご利用の方に安芸灘大橋の帰りの通行券を進呈！
詳しくは、くれ観光情報プラザTEL:0823-23-7845 まで

広島駅から電車・バス利用の場合
JR 呉線に乗り、広島で下車。広島前の道路を渡ったところにある「広島前」バス停から瀬戸内産交運行の「宮前センター・沖友天満宮行き」バスに乗車。「下蒲刈中学校」または「三之瀬」で下車。バスは上下線とも毎時1本運行しています。（土日祝を除く）
[バスに関するお問い合わせ：瀬戸内産交（株）TEL 0823-70-7051]



新型コロナウイルス感染予防に関するお客様へのお願い
●発熱や軽度でも咳、のどの痛みなどの症状がある場合は、ご来館をお控えください。●ご入館の際は手指のアルコール消毒、検温にご協力ください。
●新型コロナウイルスの感染状況によっては、今後予定しております展覧会の変更、または臨時休館をする場合がございます。最新の情報はHPをご覧ください。お気軽にお問い合わせください。